



ブライト ベビーキャリー

取扱説明書 / 保証書

ご使用になる前に必ずこの『取扱説明書』を読んでいただき、十分にご理解された上で、記載の内容に従って正しくご使用ください。



3点式シートベルトで
取り付けます。

後ろ向き専用

本装置は、**身長40～85cm未満(体重13kg未満)**のお子様用です。

※本書に使用しているイラストは、取り付け方や使い方をわかりやすくするため、実際とは多少異なる場合があります。

シートを傷めるおそれがあるため、**本革シートの車両**はそのまま取り付けしないでください。取り付ける場合は、保護マット等を敷いてから取り付けください。(別売)

ご使用になる前に

～安全のため必ずお読みください～

本装置について

本装置は、安全基準(UN ECE R129/03)*に適合しており、身長が40～85cmまでのお子様を対象とした、R129改良型年少者用補助乗車装置です。

※UN ECE R129は、従来の安全基準「UN ECE R44/04」適合のチャイルドシートと比べ、より安全性を高めるために推進された新しい安全基準です。

本装置は、3点式シートベルトが装備されている車両に装着できますが、3点式シートベルトが装備されていても車種によっては適合しない場合がありますので、必ず『取付確認書』・車両の『取扱説明書』をご確認ください。

- エアバッグの装備されている座席には取り付けできません。(サイドエアバッグを除く)
- ご不明な点は、お買い上げの販売店または「お客様相談窓口」まで、お問い合わせください。

目次

●ご使用になる前に	1
本装置について	1
内容物の確認	2
本装置の特徴	2
ご利用にあたって	3
お使いいただけるお子様の目安	3
●取り付け可能な車両のシートベルトと取り付ける上での注意点	4
●安全にお使いいただくために	5
●各部の名称	11
●各部の使い方	12
ハンドルの使い方	12
バックル・タングの使い方	13
肩ベルトの使い方	14
ヘッドサポート調節レバーの使い方	15
サンシェードの取り外し方	16
インナークッションの使い方	16
●チャイルドシートとして使用する	17
取り付ける前のご注意	17
取り付け方	18
お子様の乗せ方	20
お子様の降ろし方	22
取り付け後の安全チェック	23
●ベビーキャリーとして使用する	24
●ロッキングチェア・ベビーチェアとして使用する	26
●お手入れのしかた	27
●保証書	30

内容物の確認

本装置には、次のものが同梱されています。足りないものや破損している箇所がある場合はそのまま使用せずに、本書巻末に記載の「お客様相談窓口」までご連絡ください。



取扱説明書

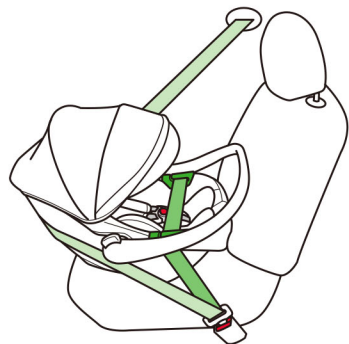


本装置

〈サイズ〉 W425×D680×H280～535mm
〈重量〉 3kg

本装置の特徴

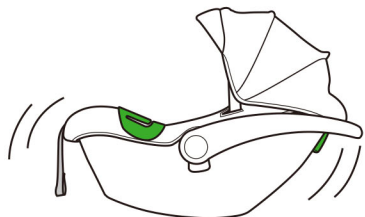
本装置は、チャイルドシートとして使用できるほか、ロッキングチェア、ベビーキャリア、ベビーチェアとしてもご使用いただけます。



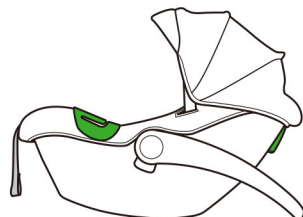
チャイルドシート



ベビーキャリア



ロッキングチェア



ベビーチェア

ご利用にあたって

本書を読んでいただくためのポイントマークについて

下記のポイントマークは安全に関する内容ですので、必ずこれらの内容を十分理解したうえでご使用ください。

警告

事故につながったり、生命の危険、重大な傷害のおそれがあることを記載しています。

注意

安全のため、ご注意ください。記載しています。

補足

より安全・快適にご使用していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

✕ 図に表示している行為の禁止を示しています。

お使いいただけるお子様の目安

本装置は、次の条件をみたすお子様にご使用いただけます。本装置の使用可能な範囲は、安全規格(UN ECE R129/03)の規定である、お子様の身長を基準に使用範囲を定めています。この範囲にあてはまらない場合は、使用しないでください。また、この範囲はチャイルドシートだけではなく、ロッキングチェア、ベビーキャリア、ベビーチェアにおいても共通です。

適応身長

40cm以上85cm未満の
お子様

(本装置に乗せて、頭が本装置から出ないお子様)

体重・月齢

2.5kg以上13kg未満の
お子様

(新生児～15ヵ月頃まで)



体重・月齢が使用できる目安の範囲であっても、お子様の身長が85cmを超えた場合はご使用いただけません。

補足

- 長時間連続してのご使用は、お子様の負担となりますので、1時間くらいを目安に、お子様を降ろして休憩を取るようになさってください。
- 運転者以外のお乗者は、お子様から目を離さないようになさってください。同乗者がいない場合は、運転者が安全に留意して、休憩時などにお子様の様子を確認してください。

取り付け可能な車両のシートベルトと 取り付ける上での注意点

必ず3点式シートベルトの座席に取り付けてください。
2点式シートベルトの座席には、取り付けられません。

3点式シートベルト

腰ベルトの左右と肩ベルトの3点で体を支えるシートベルト。



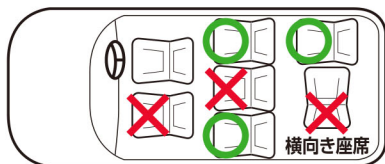
2点式シートベルト

腰ベルトの左右2点
で体を支えるシート
ベルト。



取り付け可能箇所

- 助手席にはエアバッグが装備されています。エアバッグの作動により大きな衝撃を受けるおそれがあるため、後部左右座席に取り付けてください。
- 進行方向に対し、後ろ向き・横向きの座席には取り付けられません。



○取り付け可能 ×取り付け不可

3点式シートベルトの種類

○ ELR緊急ロック式 (巻き取り機能付)	ゆっくり引き出すと自由に伸び縮みし、勢いよく引くとロックするシートベルト。
○ ALR/ELR (チャイルドシート固定機能付)	すべて引き出した後で自動的に巻き戻り、それ以上伸びなくなり、すべて巻き取るとロックが解除されるシートベルト。
× その他	上記にあてはまらないシートベルトは、ご使用いただけません。

※ご使用になる前に、車両の『取扱説明書』をご確認ください。

安全にお使いいただくために

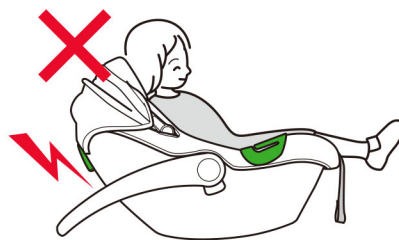


警告

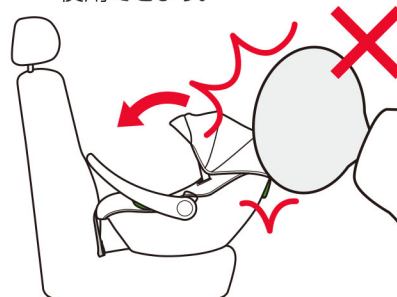
本装置は、安全な後部座席に取り付けてください。

※エアバッグが装備された前座席には、取り付けられません。

- お子様の頭頂部が出たり、足が大きく本装置からはみ出してしまう場合は、使用しないでください。



- エアバッグが装備された座席には、本装置を使用できません。衝突時、エアバッグの作動により、衝撃を受け非常に危険です。※サイドエアバッグのみの場合は、使用できます。

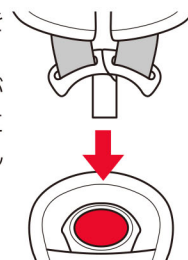


- 必ず、後ろ向きに取り付けてください。前向きでは使用できません。

- 取り付けの際は、必ず車両のシートベルトで固定してください。ひも等シートベルト以外のもので固定して、使用しないでください。



- 左右のタンクを重ね合わせて、「カチッ」と音がするまで確実にバックルに差し込んでください。



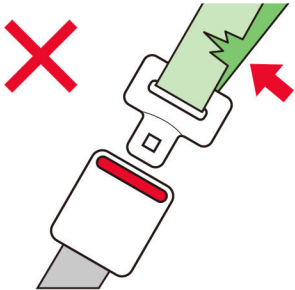
安全にお使いいただくために

警告

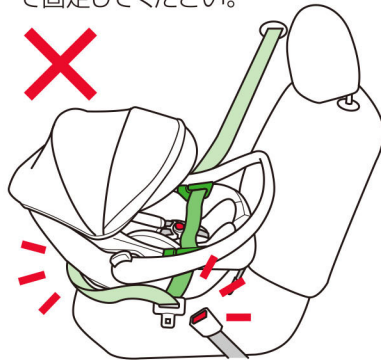
- お子様はバックルボタンを押してしまう可能性がありますので、時々タンクがバックルから外れていないかを確認してください。



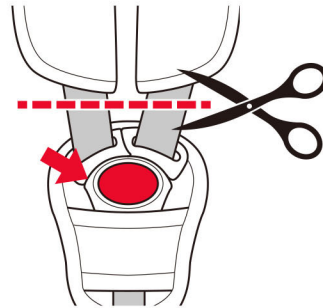
- 本装置を取り付けた後に、車両の座席の移動や調節をしないでください。固定が緩むおそれがあります。
- 車両のシートベルトに傷がある場合、その座席には決して取り付けしないでください。



- お子様を本装置に乗せないとき、また車内に置いたまま運転される場合でも、必ず車両のシートベルトで固定してください。



- 事故などの緊急時は、バックルボタンを押し、肩ベルトを外してお子様を車外に脱出させてください。肩ベルトが外れない場合は、肩ベルトを切断してください。



- お子様を本装置に乗せたまま、車内にひとりで放置しないでください。予期せぬ事故の原因となる場合がありますので、必ず保護者の方が同乗してください。



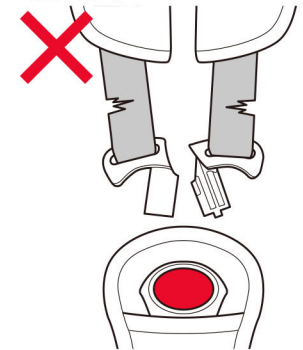
- 本装置の肩ベルトが緩んだ状態で使用すると、お子様が脱落したり肩ベルトが首に巻きついて窒息するおそれがありますので、正しい長さに調節してからご使用ください。



- 衝突事故や本装置を落下させたときなど、一度でも強い衝撃を受けた場合は外見上問題がなくても絶対に使用しないでください。



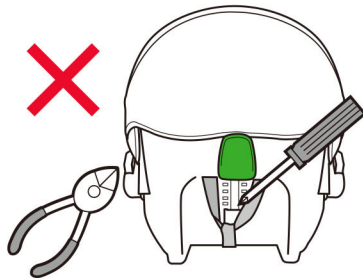
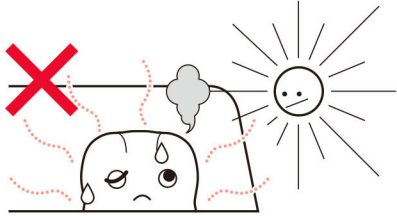
- 走行前に、本装置が正しく座席に取り付けられているか、取り付けが緩んでいないか確認してからご使用ください。
- 本装置の肩・腰ベルトに傷が付いた場合は、使用をただちに中止してください。



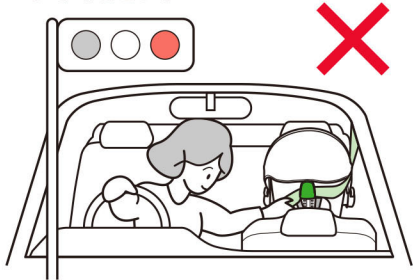
安全にお使いいただくために

⚠ 注意

- 直射日光が当たる場所や、日差しが強い夏の時期に車内に置いたままにすると、本装置のタンクなどが熱くなって、お子様がやけどをするおそれがあります。日陰に駐車されるか、本装置にカバーをかけて保護してください。
- 本装置を改造したり、部品を外して使用しないでください(インナークッションを除く)。万一の場合、十分な機能を果たさなくなります。また、インナークッション等は純正品以外は使用しないでください。安全を損なうおそれがあります。

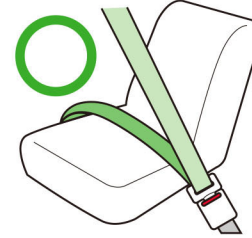


- 本装置を車両のドアに挟まないように取り付けてください。
- 走行中は、本装置の操作・移動は決してしないでください。取り付け状態の確認、お子様の固定状態の確認される場合は、車両を安全な場所に停めてから、確認や操作をしてください。
- 本装置を屋外に置き、風雨にさらさないようにしてください。
- 車両の座席にクッションや座布団などを敷いたまま、取り付けしないでください。(保護マットは除く)



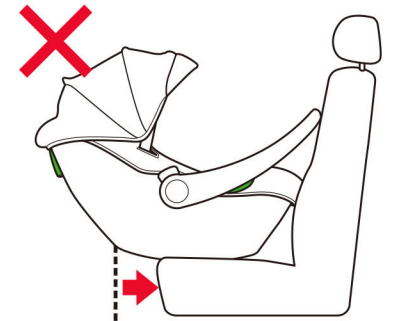
⚠ 注意

- 本装置が取り付けられるのは、3点式シートベルトの座席のみです。
- 2点式シートベルトの座席は、取り付けできません。



取り付けできない座席

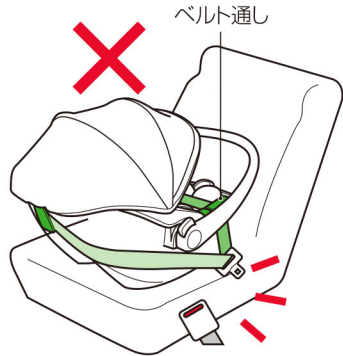
- シートベルトの全長が230cm以下の座席。
- シートベルトが装備されていない座席。
- 座面の奥行きが40cm以下の座席。
- 本装置が座席からはみ出す場合。
- 座面の幅が32cm以下の座席。



- 本装置を使用することにより、緊急時に車両から脱出する際、さまたげになる座席。

各部の名称

- 本装置のベルト通しよりも、前にシートベルトが出ている座席。



- 極端なバケットシート。座面・背面が極端に凹んだ座席。または座面の凹凸が大きく、不安定な座席。



- 横向きや後ろ向きの座席。

- 自動式ショルダーベルト(パッシブシートベルト)*が、装備されている座席。

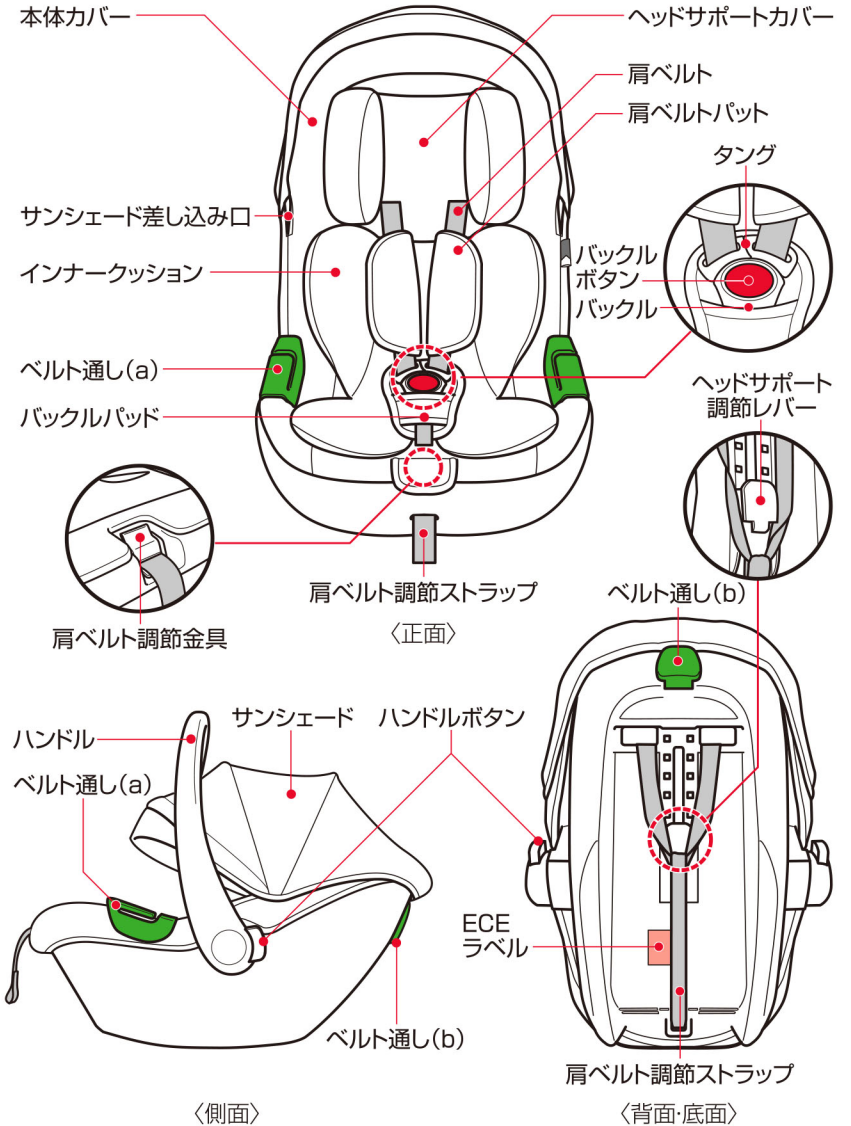
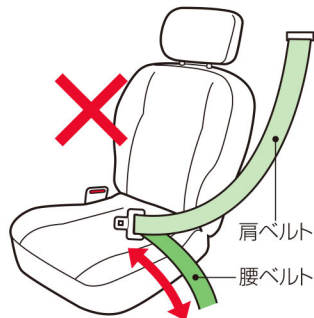
※ドアを閉めると自動的にシートベルトを装着する機能があるシートベルト



- 腰ベルト、または肩ベルトがドアに取り付けられた座席。

- 腰ベルトにELR*が装備されている座席。

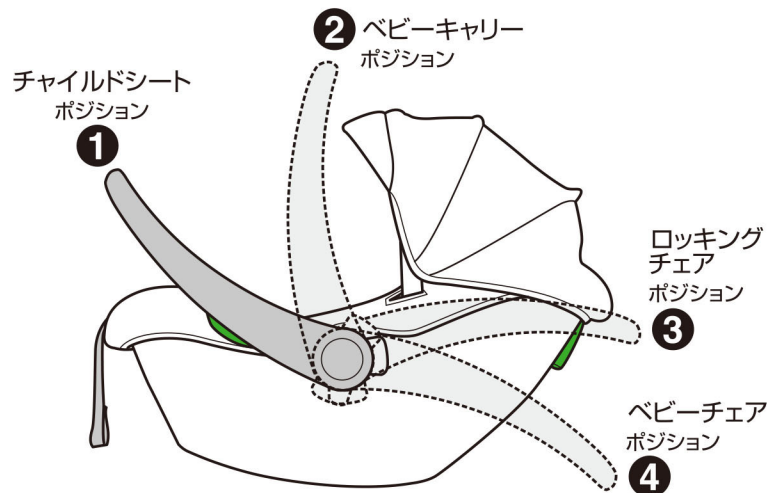
※腰ベルトをゆっくり引くと自由に入出しし、衝撃を感知した際にロックするシートベルト



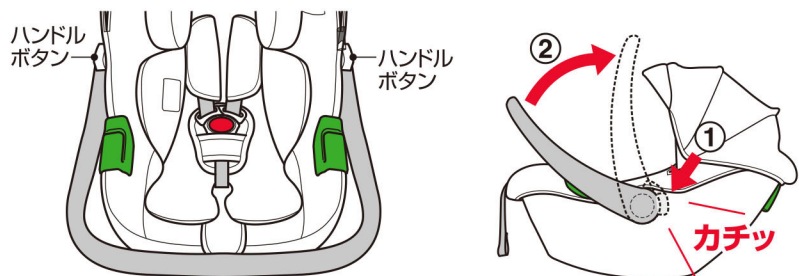
各部の使い方

ハンドルの使い方

ハンドルは4つのポジションで使用することができます。



ハンドルの付け根にあるハンドルボタン(左右)を同時に押しながら、ハンドルを使用するポジションに回転させます。ハンドルは任意のポジション(①～④)まで回転させると、「カチッ」と音がして固定されます。固定されると押し込んだハンドルボタンは元の位置に戻ります。



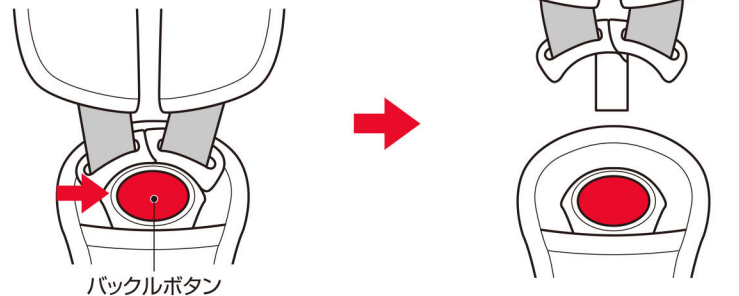
注意

ハンドルを回転させる時、お子様の手や指を挟まないように注意してください。ハンドルを固定しないままにしておくと、思わぬ事故につながる場合がありますので、必ず固定した状態でお使いください。

バックル・タングの使い方

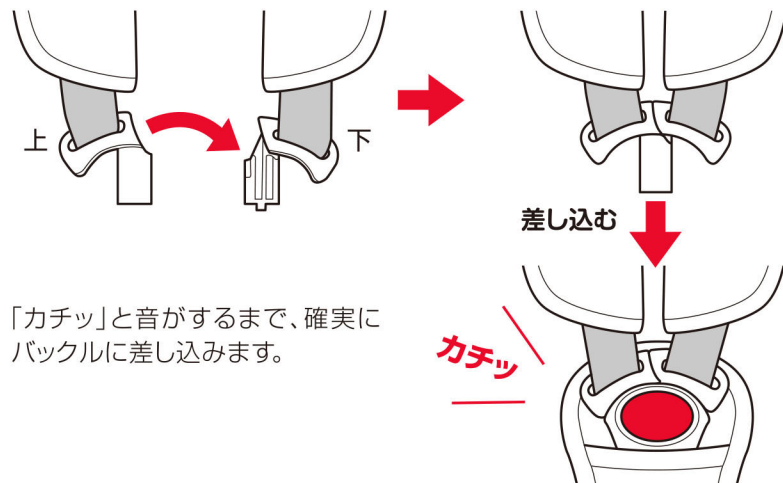
●取り外し方

バックルボタンを押してロックを解除します。



●取り付け方

タングを上下に重ね合わます。



「カチッ」と音がするまで、確実にバックルに差し込みます。



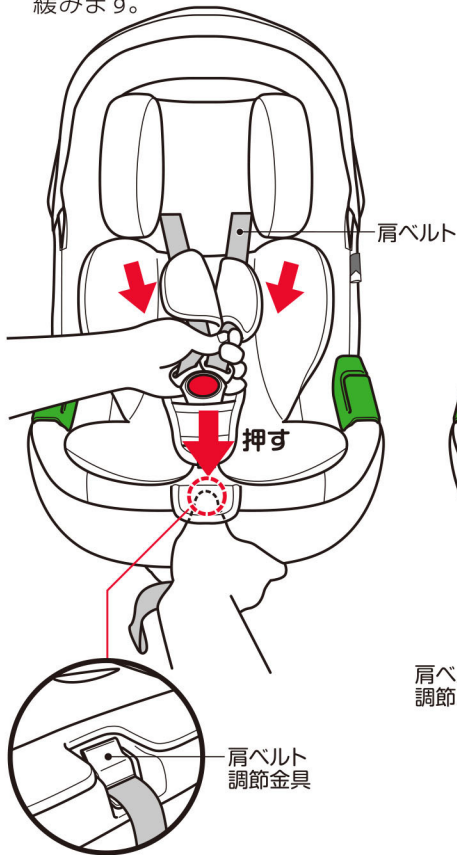
警告

バックルが正しく固定されていないと、使用中に急にバックルが外れ、お子様が本装置から飛び出したり、落下するなど重大な事故につながるおそれがあります。バックルに異常がある場合は決して使用しないでください。また、バックルの中にゴミや食べかすが入らないように、使用しない時もバックルは固定するようにしてください。

肩ベルトの使い方

●肩ベルトを緩める

カバーの下にある肩ベルト調節金具を押しながら、左右の肩ベルトを手前に引くと、肩ベルトが緩みます。

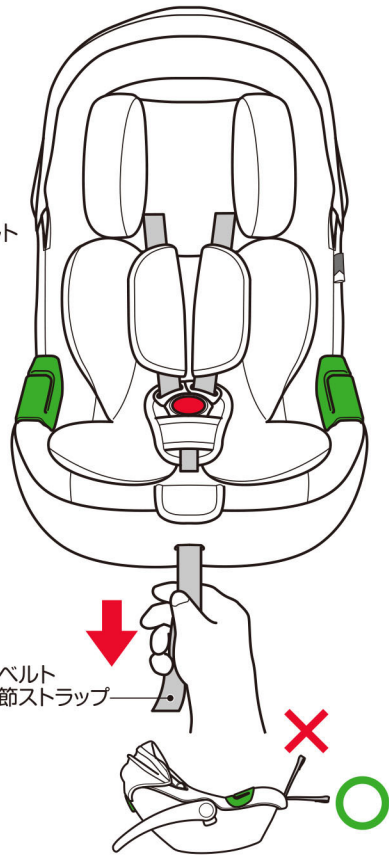


注意

左右の肩ベルトの長さが均等になるように、肩ベルトを同時に引き出してください。

●肩ベルトを締める

肩ベルト調節ストラップを手前に引くと、肩ベルトが締まります。



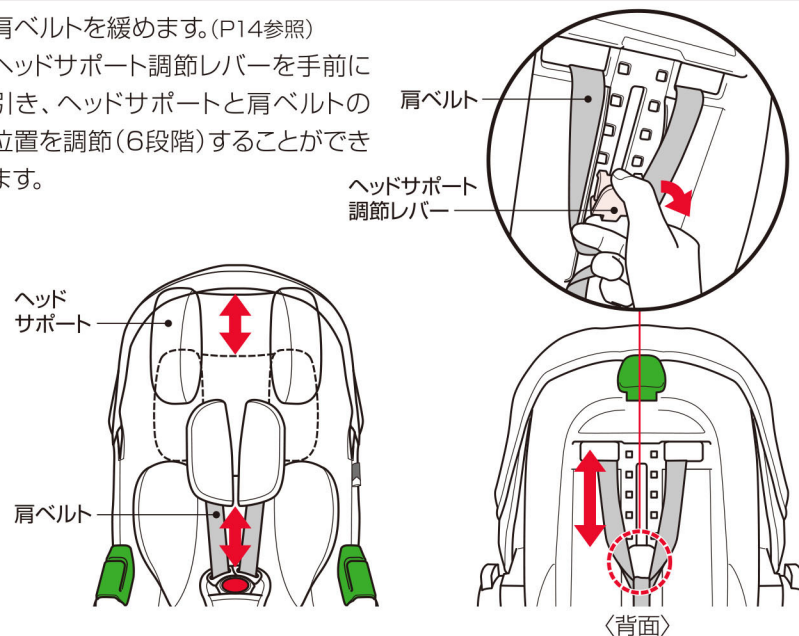
注意

肩ベルト調節ストラップを上引っ張ると、肩ベルト調節金具が破損するおそれがありますので、必ず手前に引ってください。

ヘッドサポート調節レバー(肩ベルト連動)の使い方

肩ベルトを緩めます。(P14参照)

ヘッドサポート調節レバーを手前に引き、ヘッドサポートと肩ベルトの位置を調節(6段階)することができます。



●高さ調節の目安

お子様の頭よりやや低い位置に調節してください。

お子様の頭よりヘッドサポート・肩ベルトが上になる場合は、肩の位置に最も近い位置に調節してください。

× 低すぎる



○ 適正



× 高すぎる

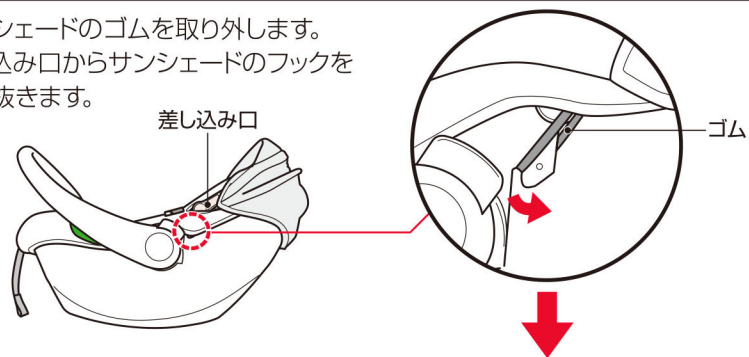


警告

肩ベルトの高さが、お子様の身体に合っていないと衝撃が加わった時に肩ベルトが外れ、お子様を保護できません。

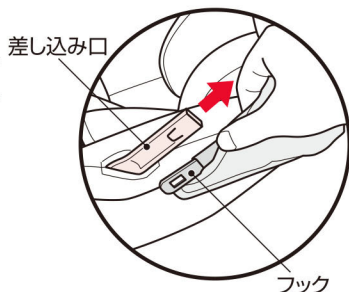
サンシェードの取り外し方

サンシェードのゴムを取り外します。
差し込み口からサンシェードのフックを
引き抜きます。



●取り付け方

サンシェードのフックを、差し込み
口に「カチッ」と音がするまで差し
込みます。
サンシェードのゴムを取り付けます。

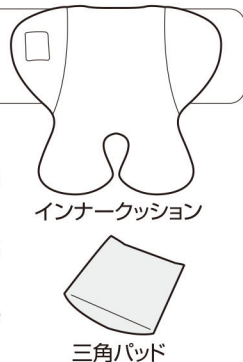


取り付け・取り外しの際に、
指をはさまないように注意
してください。

インナークッションの使い方

インナークッションは、リバーシブルタイプになっています。

表：ニット生地(柔らかい肌触りです)
裏：メッシュ生地(通気性に優れています)



〈ご使用期間の目安〉

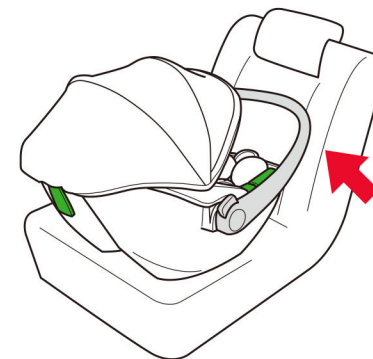
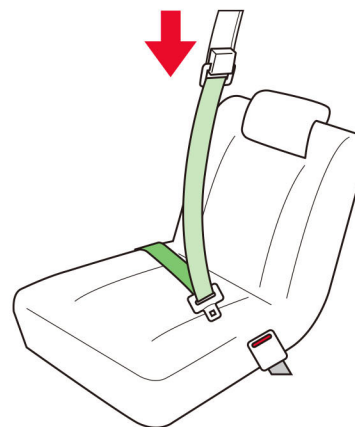
身長が76cm未満のお子様は、必ずインナークッション
を付けてご使用ください。
取り外してよい条件は、76cm以上(6ヶ月頃)で腰と
首がすわっていること。

※ベルトがきつい場合は、三角パッド(インナークッション
裏側)を抜き取ってご使用ください。

チャイルドシートとして使用する

取り付ける前のご注意

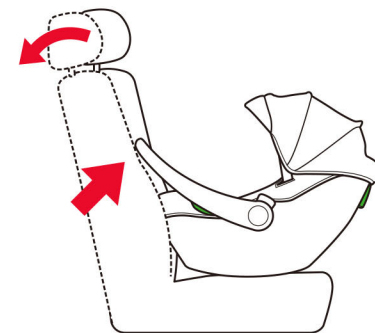
- 高さ調整ができるシートベルトの場合は、最も低い位置に調整してください。
- ハンドルの位置は、車両のシートの背もたれの方向に調節してください。(P12「ハンドルの使い方」参照)



- 本装置の本体が車両のシートの背もたれと座面に接するように、設置してください。

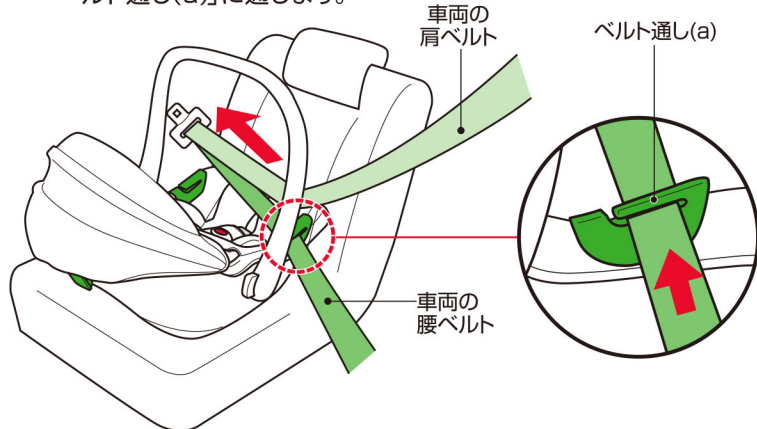
※本装置の本体が車両のシートの背もたれに接地しない場合、シートの背もたれがリクライニングできる車両の場合は、背もたれをリクライニングさせて調節してください。

- 本装置は、後ろ向き専用です。
前向きでの取り付けはできません。

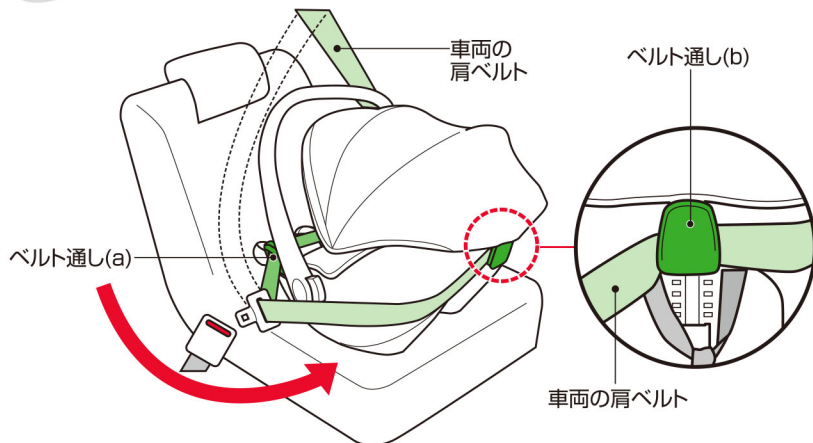


取り付け方

- 1** 車両のシートベルトを引き出し、車両の腰ベルトを本装置の両サイドにある「ベルト通し(a)」に通します。



- 2** 車両の肩ベルトを、本装置の背面にある「ベルト通し(b)」に上から挟み込みます。



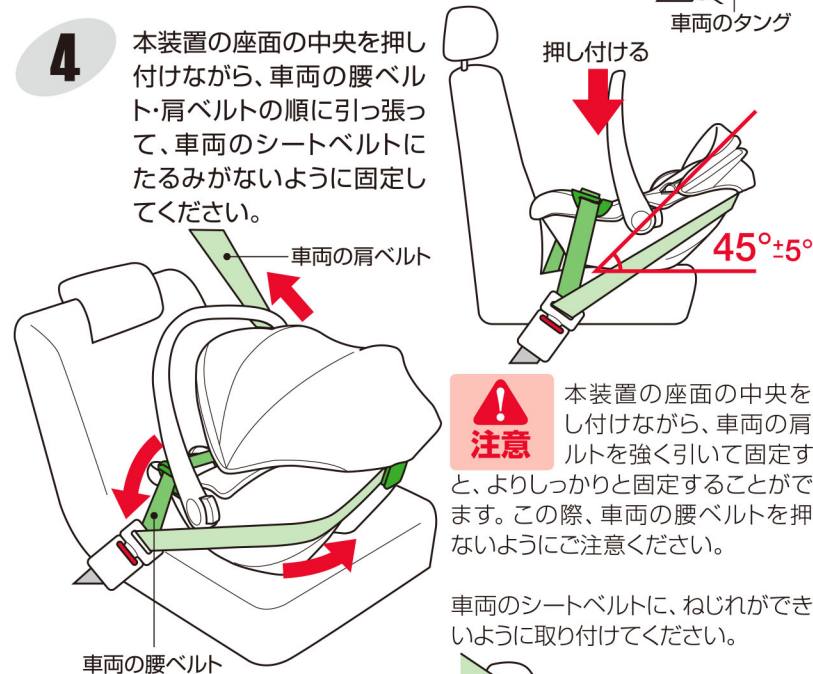
- 注意** 車両のシートベルトが「ベルト通し(a)(b)」に、しっかり挟み込まれていることを確認してください。

取り付け方

- 3** 車両のシートベルトのタングを、車両のバックルに「カチッ」と音がするまで差し込みます。



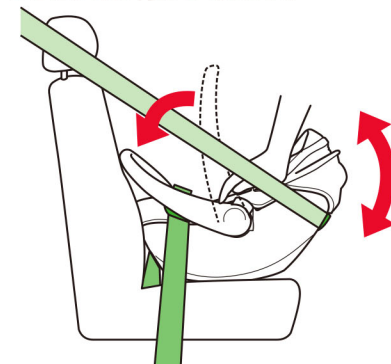
- 4** 本装置の座面の中央を押し付けながら、車両の腰ベルト・肩ベルトの順に引っ張って、車両のシートベルトにたるみがないように固定してください。



- 注意** 本装置の座面の中央を押し付けながら、車両の肩ベルトを強く引いて固定すると、よりしっかりと固定することができます。この際、車両の腰ベルトを押しさないようにご注意ください。

車両のシートベルトに、ねじれができないように取り付けてください。

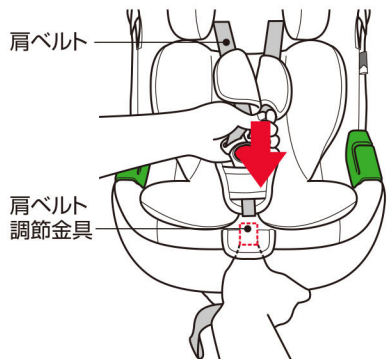
- 5** ハンドルをチャイルドシートポジションにし(P12参照)、本装置の上部を軽く前後に揺すり、ぐらつきがないか確認してください。



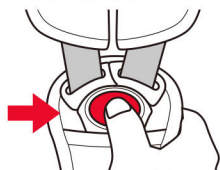
- 警告** ぐらつきがある場合は取り付けが緩い状態ですので、再度取り付けなおしてください。

お子様の乗せ方

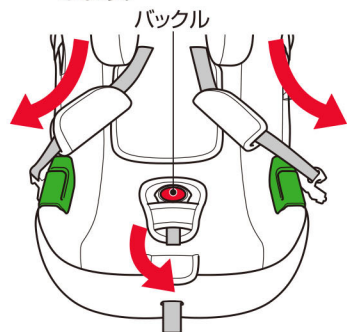
- 1** 本体カバーの下にある肩ベルト調節金具を押しながら、左右の肩ベルトを手前に引いて肩ベルトを緩めます。



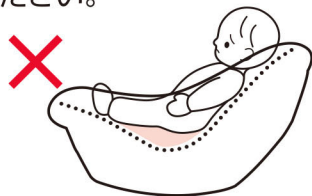
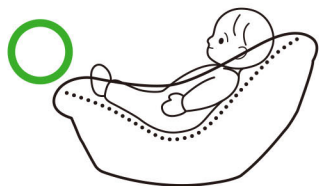
- 2** バックルボタンを押してロックを解除します。



- 3** 左右の肩ベルトを開き、バックルも手前に倒して、お子様を乗せるスペースを確保します。



●お子様は、本装置に深く乗せてください。

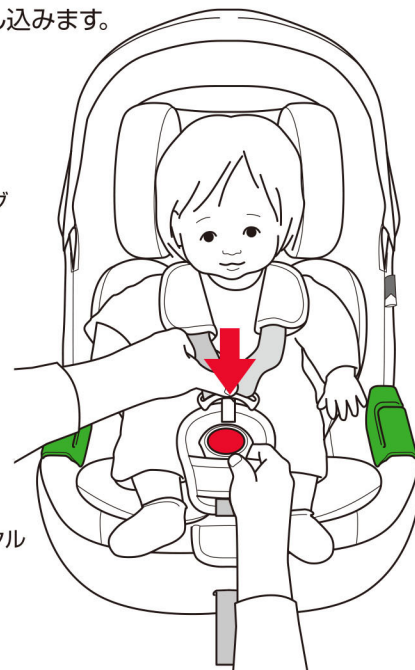
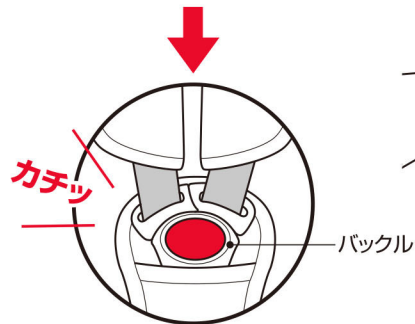
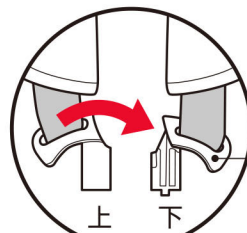


警告 おくるみなど手足の出ない衣類や、過度の重ね着で使わないでください。



お子様の乗せ方

- 4** バックルが、お子様の股の間に収まるように深く座らせます。左右のタングを合わせ、バックルに「カチッ」と音がするまで差し込みます。

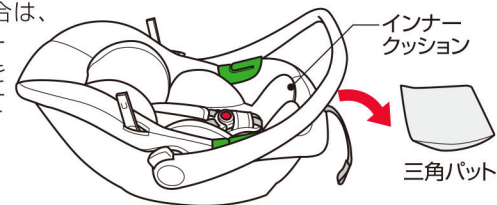


警告 バックルが確実に固定されていることを、必ずご確認ください。

注意 バックルに差し込む際、肩ベルトにねじれができないように、また、指をはさまないように十分注意してください。

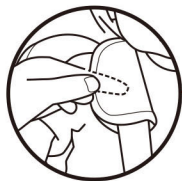
補足

ベルトがきつい場合は、三角パット(インナークッション裏側)を抜き取って調節してください。



5

肩ベルトパットとお子様の肩の間に指1本が入る程度を目安に、肩ベルト調節ストラップを手前に引いて肩ベルトを締めます。



肩ベルトパット

肩ベルト



警告

肩ベルトが強く締めすぎるとおそれがありますので、肩ベルト調節ストラップは、勢いよく引っ張らないでください。



注意

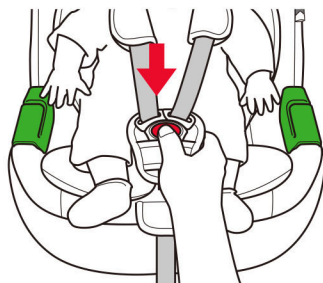
肩ベルト調節ストラップを上引っ張ると、肩ベルト調節金具が破損するおそれがありますので、手前にゆっくり引っ張ってください。

肩ベルト調節ストラップ

お子様の降ろし方

1

肩ベルト調節金具を押し、肩ベルトを緩め、バックルボタンを押してロックを解除します。お子様の腕を肩ベルトから抜き、ゆっくりとお子様を降ろしてください。



警告

肩ベルトがお子様の腕に引っ掛からないように注意しながら、ゆっくりと降ろすようにしてください。



注意

お子様を乗せ降ろするたびに、肩ベルトの高さが適正かどうか確認し、必要に応じて調節してください。

取り付け後の安全チェック

取り付けが完了したら、本装置がしっかりと取り付けられているか下記の項目にチェック☑してください。

車両のシートベルトにねじれやたるみがないこと。

お子様の肩ベルトが正しく調節されていること。

本装置のタングがバックルに確実にセットされていること。

車両のタングがバックルに確実にセットされていること。

車両のフロア(水平)に対して本装置の背もたれの角度が $45^{\circ} \pm 5^{\circ}$ になっていること。この角度を超えて起こした姿勢では呼吸がしづらい場合がありますので角度に注意して設置してください。

※調節できない場合は、ご使用いただけませんのでご注意ください。

車両のシートベルトがベルト通し(a)(b)に確実に通っていること。

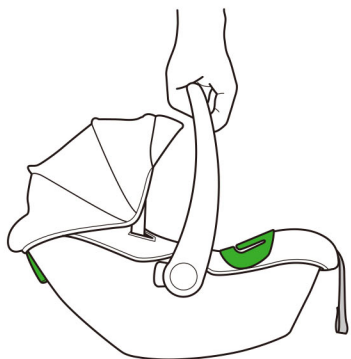
車両の背もたれに本装置の本体が、すき間がなく接していること。

車両フロア

ベビーキャリアとして使用する

本装置のハンドルをベビーキャリアポジションにセットして、お子様を乗せたまま移動することができます。

- ハンドルを立てた状態で本装置を持つ



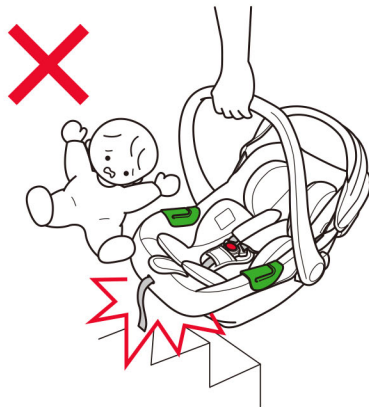
- ハンドルを手でしっかり握ってもう一方の手で本装置をつかむ



⚠ 注意

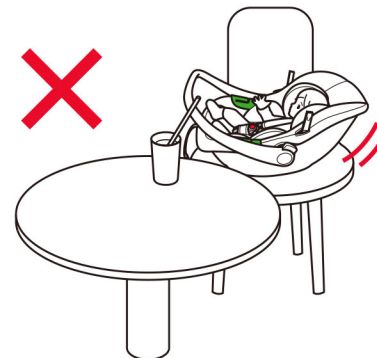
- お子様を乗せるときは、チャイルドシートとして使用する場合と同様に、タンク・バックルを固定し、肩ベルトを適正な長さに調節してからご使用ください。

- 階段・坂道や段差のある場所は、十分にご注意ください。本装置をぶついたりすると、お子様や運んでいる方がケガをする原因になります。



⚠ 注意

- テーブルや椅子の上など、不安定な場所に置いて使用しないでください。本装置のバランスが崩れて落下するおそれがあり、ケガをする原因になります。



- ハンドルを肩にかけて本装置を持ち運ばないでください。運んでいる方が転倒した場合、ケガをする原因になります。

- 右図のような持ち方は決してしないでください。ハンドルの位置が変わり、お子様が落下するおそれがあります。



- 本装置を持ったまま走らないでください。

- 使用中は、本装置を地面に対して水平に保つようにしてください。



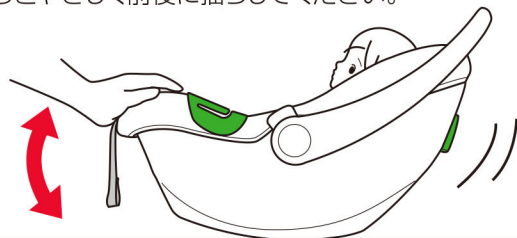
- ハンドルは、確実に固定してください。ハンドルが固定されていないと、本体が前後に回転し、お子様に強い負担がかかるばかりでなく、お子様が本装置から落下し、重大な事故につながるおそれがあります。
- 本装置を持ち上げる際は、必ずハンドルをベビーキャリアポジションにして持つようにしてください。ハンドルを持たずに持ち上げると、バランスを崩し本装置が落下するおそれがあります。
- お子様が落下したり、重大な事故につながるおそれがありますので、本装置を大きく振ったり、揺すったりしないでください。
- 使用しないときでも安定しない場所や高所に置かないでください。

ロッキングチェア・ベビーチェアとして使用する

P12「ハンドルの使い方」を参照して、それぞれのポジションにてご使用いただけます。

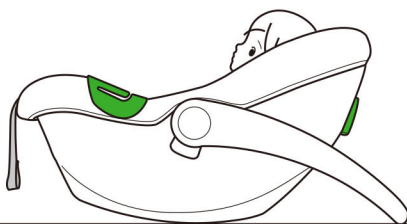
●ロッキングチェア

P20「お子様の乗せ方」を参照して、お子様を本装置に正しく乗せます。ゆっくりとやさしく前後に揺らしてください。



●ベビーチェア

P20「お子様の乗せ方」を参照して、お子様を本装置に正しく乗せます。そのまま椅子としてご使用ください。



警告

- 本装置の使用中は、お子様を放置しないでください。常に大人の方が付き添い、お子様の様子を確認するようにしてください。
- 安定しない場所や階段、ドア、窓などの近くで使用しないでください。重大な事故につながるおそれがあります。また、冷暖房など風が直接あたる場所で使用しないでください。



注意

- お子様を乗せるときはチャイルドシートとして使用する場合と同様に、タンク・バックルを固定し、肩ベルトを適正な長さに調節してからご使用ください。
- お子様が乗り物酔いと同等に気分が悪くなるおそれがありますので、長時間にわたる連続使用は避けてください。また、おう吐のおそれがありますので、授乳直後、食事直後の使用は避けてください。

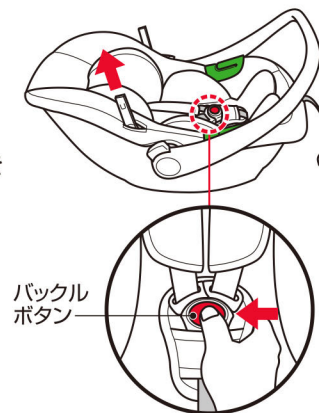
お手入れのしかた

取り外し方

1

サンシェードを取り外します。
(P16参照)

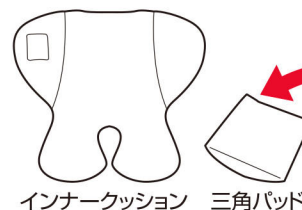
バックルボタンを押してロックを解除します。



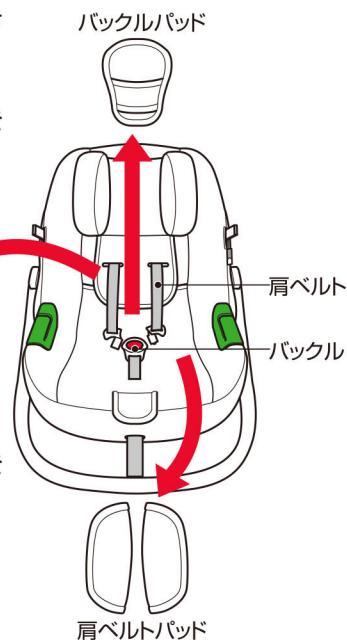
2

バックルからバックルパッドを引き抜きます。

インナークッション・三角パッドを取り外します。



肩ベルトから、肩ベルトパッドを引き抜きます。



保証規定

- ① 本製品の品質保証期間は、お買い上げの日より1年間です。
 - ② 保証期間内には、パーツの欠品、加工不良などメーカーの責任によるものは無償保証といたしますが、お客様の責任によるものは保証いたしかねます。
 - ③ 保証期間内でも、次の場合は保証対象外とさせていただきます。
 - フレームおよびプラスチック部品の自然劣化による変色。 ● ご使用にともなう傷やぶれ、変色。
 - 天災地変や、事故などによる故障や損傷。 ● 有償修理時に要する送料費。
 - 一般家庭以外で、業務などに使用されて故障した場合。 ● 部品の紛失。
 - 保証書およびレシート、または販売証明書のご提示がない場合。
 - 間違った使い方や改造、不適切な修理、手入れ不良による故障や損傷。
 - 保証書に製品名、お買い上げ日・お客様名・販売店名のご記入がない場合や、字句を書き換えられている場合。
 - ④ 原則として、一度で使用になった製品はお取り替えできません。また、パーツ欠品・加工不良のものを除き保証いたしかねます。
 - ⑤ 製品の故障・損傷から派生する間接的な損傷や損害は、保証の対象外となります。
 - ⑥ 事故や落下等で強い衝撃を受けた製品は、保証の対象外となります。
 - ⑦ 保証書は日本国内においてのみ有効です。海外からの保証サービスは受付できません。
 - ⑧ ご贈答、ご移転で保証書に記入してある販売店に保証サービスを依頼できない場合は「お客様相談窓口」にご相談ください。
 - ⑨ 本保証は保証書記載欄の販売店から、お買い上げ日にご購入されたお客様（贈答品の場合は、保証書記載欄の販売店からお買い上げになられたお客様から贈答された方）にのみ有効です。第三者から譲り受けた場合（リサイクルショップやネットオークション等含む）、使用履歴を確認できない場合は、本保証は適用されません。
 - ⑩ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償保証をお約束するものです。したがって、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。この保証期間後においてご不明な点がありましたら、「お客様相談窓口」にお問い合わせください。
- ※製造が終了してから3年経過した製品や、必要部品の在庫がなくなった場合等、すでに修理対応ができない製品につきましては修理をいたしかねることがあります。
 ※保証期間内であっても、不具合のある箇所によっては修理ができない場合があります。
 ※本保証は事前の通知なく変更される場合があります。

保証書

お買い上げ後、お買い上げ日・お客様名・販売店名を直ちにご記入いただき、レシートまたは販売証明書（ご購入年月日・販売店がわかるもの）と一緒に大切に保管してください。

製品名 MCブライト ベビーキャリー	お買い上げ年月日	年 月 日	故障内容記入欄
	保証期間	お買い上げ日より1年間	
お客様 お名前 ご住所	TEL		
販売店 店名 住所	TEL		

- 万一故障が発生した場合は、この保証書とレシートまたは販売証明書をご提示ください。
 - ご提供いただいた個人情報、保証書に基づくアフターサービスののために使用し、その他の目的に使用することは一切ございません。
 - 本書は再発行しませんので、大切に保管してください。
- ※品質向上のため、予告なしに一部仕様変更する場合がありますのでご了承ください。

Mc
ブライト ベビーキャリー



企画・販売元

株式会社シーエー産商

〒480-0201 愛知県西春日井郡豊山町大字青山字東栄51
www.ca-sansho.co.jp

お客様相談窓口

0120-034-017

●受付時間／AM10:00～12:00・PM1:00～PM5:00
 （月曜日～金曜日※弊社休日を除く）

RM1001-2024-01